

全国学力実態調査の結果について（平成 30 年 4 月 17 日 実施）

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動へのご理解、ご協力をいただいておりますことを感謝申し上げます。
さて、本年度 4 月 17 日第 6 学年児童を対象に実施し、結果個票を配付いたしました全国学力学習状況調査（国語 A・B・算数 A B・理科）についての結果等についてお知らせいたします。

1 全国標準との比較

（A問題:主に知識・技能に関する問題 B問題:知識・技能を活用する力に関する問題）

国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科
同程度である	同程度である	同程度である	同程度である	同程度である

2 各分野

	国語 A	算数 A	理科
課題	登場人物の心情について、情景描写を基に捉えることができていました。筋道を立てて話すことには、課題があります。	図形についての技能は身につけてきています。わる数が小数である場合の割り算について課題があります。	観察・実験の技能に関しては、身につけてきています。結果を見通して、実験を構想することについて課題があります。
	国語 B	算数 B	
課題	目的に応じて、複数の文章を選んで読むことはできていました。自分の考えをまとめて書いたり、考えを明確にして読んだりすることに課題があります。	数量や図形についての知識・理解は定着してきています。集まった角度の大きさが 360 度になることを説明するなど、記述問題に課題があります。	

3 児童アンケート調査について

課題	家における自学・自習において、教科書を使いながら学習していることに対する肯定的回答や 1 日あたりの学習時間の長さに関して、福岡県平均・全国平均よりも高い傾向にありました。また、地域社会などにおけるボランティア活動経験も同様に高い傾向にありました。一方で決まった時刻の就寝・起床に関しては、福岡県平均・全国平均よりも低い傾向にありました。また、読書時間も少ない傾向にあります。
----	--

4 本校の今後の取り組み

- (1) 本校全員の教員で結果について分析した後、改善の方法を検討し実践に生かしていきます。
- (2) 教科指導の中での「読み」、自分の考えを「書く」ことを大切にしていきます。
- (3) 自分で考え主体的に取り組んだり、考えを交流し深め広げたりする学習を展開していきます。
- (4) 家庭学習習慣（高学年は家庭学習を計画的に行うこと）が形成されてきています。さらなる定着をめざして声かけ・励ましをお願いいたします。
- (5) 「早寝・早起き・朝ご飯」望ましい家庭生活習慣の定着への取組を引き続きお願いいたします。
- (6) メールやインターネットの時間を減らし、家庭学習を計画的に行うことをご家庭で実践いただきたく思います。「アウトメディアデー」の取り組みをさらに充実させ、インターネットやゲームの時間を減らすこと、それに伴い読書や新聞を読む時間を増やすこと等にご家庭でご協力いただくとありがたいです。